



2023年5月2日

各 位

会社名 フィーチャ株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 脇 健一郎
(コード番号：4052 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 立花 嵩大
(TEL.03-6907-0312)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月12日に公表した2023年6月期（2022年7月1日～2023年6月30日）の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年6月期通期連結業績予想数値の修正（2022年7月1日～2023年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	512	81	81	66	11.91
今回修正予想（B）	386	△34	△37	△36	△6.60
増 減 額（B－A）	△126	△115	△118	△102	－
増 減 率（％）	△24.7	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2022年6月期）	382	25	26	29	5.27

2. 修正の理由

2023年6月期の通期業績予想につきましては、主にドライブレコーダー向けの量産開発案件の開発開始が顧客都合により大幅に遅延したことにより、受託開発収入が95百万円減少する見込みとなりました。また、大手自動車メーカーの新車向け車載カメラ案件の量産についても、徐々に搭載車種が増加している一方で、中国各地での大規模なロックダウンや半導体供給不足、ウクライナ戦争に伴う物価高騰等に伴い、新規車種の量産開始が後ろ倒しになったことにより、ライセンス収入が30百万円減少する見込みとなりました。

利益につきましても、売上高の大幅な減少及び今後開始予定である大型案件に備え、オフィスフロアの増床を進めているため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について

もそれぞれ減少する見込みとなりました。

しかしながら、上記の業績予想修正につきましては、主にプロジェクトの遅延によるものであり、複数の量産予定案件や大型案件の開始が来期以降控えております。そのため、現在、エンジニアをはじめとした優秀な人材の確保、オフィスフロアの増床による開発体制の整備等の将来に向けた投資を積極的に行っていく構えであります。

このように、当社を取り巻く事業環境は今後好転に向かうものと考えており、当社としては引き続き車載用画像認識ソフトウェアの販売を更に拡充していくとともに、他市場への展開及びディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発に積極的に取り組んでまいります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上